

多様な運動（遊び）に親しむ

児童の育成

大分県豊後高田市立高田小学校

全校児童数	357名(男子170名 女子187名)		
全クラス数	16	教職員数	40名
体育専科教員訪問学校数			10校
訪問校	桂陽、河内、田染、呉崎、草地、戴星 真玉、臼野、三浦、香々地		
体育専科教員名			桑原 正純

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆運動（遊び）の偏り

本校は休み時間に運動場や体育館で遊ぶ児童が日常的に多く、運動（遊び）の愛好度も年々増加傾向にある。一方で、体を動かすことは良いことだが、運動遊びの内容には偏りがある。また、体育学習でも単元の内容によっては消極的な言動が見受けられる児童がいる。

2 取組の計画

① 運動（遊び）をする経験を増やす

- ・遊び場の充実
- ・1校1実践と連携した運動遊び

② 多様な運動に取り組む体育学習

- ・遊びにつながる予備運動
- ・多くの運動（技）の体験

Do：実践内容

1 運動（遊び）をする経験を増やす

(1) 遊び場の充実

- ① 意欲的に外で遊びたいようになるように、運動場の遊び場の設置や整備。
- ② 遊び道具の充実。

(2) 1校1実践と連携した運動遊び

- ① 雨天時でも教室で運動が出来る工夫。
- ② 年間を通してのジャンピングボードの活用。

2 多様な運動遊びに取り組む体育学習

(1) 遊びにつながる予備運動

- ① 準備体操の後に単元に応じた鬼遊びを5分程度行う。
- ② 主運動につながる予備運動の中に遊び感覚で取り組める運動を取り入れる。

(2) 多くの運動（技）の体験

- ① 技能の習得のための段階的な運動の取組。
- ② 学年を超えた技能の体験。

●工夫したこと（&苦労した点）

- ① 手製のジャンピングボードを縄跳びシーズンだけでなく、年間を通じて設置することで、跳びはねる運動（遊び）につなげた。
- ② 1校1実践は全校で取り組んでいる。昨年まで雨天時は実施できなかったが、各教室でもできるリズム運動を取り入れた。
- ③ 多くの運動（遊び）の体験では、一つの技の習得のために、技につながる簡単な運動を取り入れて行った。
【台上前転の実践例】
 - ・ステージ踏み切り板跳び
 - ・高マット前転
 - ・ステージ前転降り
 - ・スポンジ跳び箱前転
 - ・台上前転

Check：取組の成果

- ① 年間を通じてジャンピングボードを設置したことで、縄跳びをする児童が増えた。また、数台のボードを使いバウンディング運動をする等、陸上運動に繋がる遊びが広まった。
- ② 1校1実践の取り組みで、教室で出来るリズム運動（アキレスケンタウロス体操）を取り入れたことで、リズムカルに体を動かす児童が増え、全体的に体幹が鍛えられたように感じられる。
- ③ 多様な運動（遊び）に取り組んだことで、運動に対する意欲が高まり、愛好度も昨年度に比べ増加した。

Action：今後の課題

運動（遊び）が今後も継続的に続けられるように定期的に分析・検討をしていく必要がある。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

体を動かすことは子どもたちにとって心身の成長に必要な不可欠な活動である。丈夫な体を作ることには忍耐力や自信につながり、学力にも影響すると思われる。

R7体力運動能力調査 男女別判定割合

	A	B	C	D	E
全校男子	54%	32%	10%	3%	1%
全校女子	42%	39%	17%	2%	0%

遊び道具・場の充実



【貸し出し用縄跳び】



【ジャンピングボード】

一校一実践



【アキレスケンタウロス体操】



【全校縦割り班長縄跳び】

日常の体育学習



【タグ取り鬼ごっこ】



【着衣泳】